



清流

広野小学校 学校だより

令和2年度 3月号

電話088-678-0806

人権参観日

2月2日、朝会の時に人権宣言の発表をしました。今年も、それぞれの学級で考えた言葉を見童会で集約し、3つの文にまとめました。

・心のこもった気持ちのよいあいさつをし、みんなを笑顔にしよう。
 ・相手のことを思いやり、分かり合える友達になろう。
 ・優しい言葉と行動で、一人一人が大切にされる学校にしよう。

わかりやすい言葉で、まとめました。一年間、玄関で掲示しています。自分で描いた似顔絵も周りに貼っています。来校時には、ご覧ください。

午後の参観授業では、人権の授業を見ていただきました。新型コロナウイルス感染症をテーマにした授業も見られました。先日、日本オリンピック組織委員長の森会長の発言が、世界中の人々を落胆させました。オリンピックを目指しているアスリートの人たちが一番つらかったと思います。このような発言が出るのは、本人の人権意識の低さです。言ってもいいことか、悪いことか。考えてみると、悪いことだと判断できるのに、人前ですらすらと言葉にしてしまうというのは、意識が低い証拠です。小さいときから培われてきたことだと思います。これからの子どもたちには、男女の平等も含めてあらゆる差別に対して敏感な感性をもたせたいと思います。身近な家庭から進めていきましょう。



校内マラソン大会

広野小では、これまでマラソン大会は行っていませんでした。理由としては、適当なコースがなく、計測しにくいということが考えられます。今年、旧校舎の校庭と現グラウンドを結ぶコースで1000m走を行おうと計画しました。



初めての試みでしたが、全員完走して大変盛り上がりました。保護者の方が、たくさん応援していただけのおかげだと思います。この大会は来年、再来年へとつなげていきたいです。

◇◇保護者の声◇◇
 六年部長 細井 正幸
 広野小学校に入学して、はや六年間が過ぎようとしています。子供たちはもちろんのことですが、私にとっても色々経験・勉強させていただいた年月だったように思います。

しかし、昨年からは、新型コロナウイルスにより、人が集まることができずなくなっています。また、行動自体が制限されているため、あまり外出もできていません。色々なものを見たり・聞いたり、子供のうちにやらせておきたいことができないのは、なかなか歯がゆく感じています。

それでも学校の先生方は、様々な方法で難問を打開してくださっています。たとえば、あなたの学校が修学旅行を断念している中、広野小学校は、従来の場所とは違ついても決行してくださいました。先生方が、考え・話し合つて行えたものだと思います。広野小学校は、過去より、先生・保護者が共に手を取り合つて様々な問題の解決策を導き出し、子供たちを成長させてきた場であります。今後ともこのスタンスを崩すことなく、未来につなげていきたいです。

「ありがとうございます。」

3月の行事予定

- 3(水) PTA役員会
- 8(月) 卒業式練習開始
- 10(水) 集金日・貯金日
- 12(金) 卒業式予行
- 17(水) 6年生修了式 式場準備

- 18(木) 卒業証書授与式
- 20(土) 春分の日
- 24(水) 修了式 離任式
- 25(木) 春休み ~4/7まで
- 29(月) PTA会計監査

4月の行事予定

- 8(木) 着任式、始業式
- 9(金) 入学式

校長閑話

第12話 「夢をもつ」

1月に、4・5・6年生が「おとなカタログ」という出前授業を受けました。神領の「えんがわオフィス」谷脇さんがプロデュースしてくれて、3人の「キラキラおとな」の方から、今の仕事をするようになった話などを聞いて、その後ワークショップを行いました。3人とは、広野出身の「赤尾苑香」さん（建築士）と保護者の「千代田孝子」さん（コーヒーロースター）、徳島市在住の「いとう優歌」さん（シンガーソングライター）です。3人とも、自分の今の仕事に誇りと自信をもっている姿が、とてもキラキラと輝いて見えました。子どもたちは、それぞれにいろんな事を感じたようですが、私も「目からうろこ」で感心させられることがありました。

その1つが、「職業の数はいっぱいある。今ある職業は、将来無くなるものが多い。しかし、新しく生まれるものもたくさんある。なりたい仕事がなかったら、作っちゃえばいい。1つでなくても、幾つか仕事をかけもってもいい。」です。この発想は、私にはありませんでした。なりたいものを探すより、何がしたいかを見つけることが大事なんです。これまで教えた子どもたちには、「夢をもとう、将来やりたい仕事を考えよう」などとたくさん話をしてきましたが、10年先の未来なんて、分からないのが現実です。ですから、今あるものの中から決めるのではなく、自分が何をしたいのか、そこをしっかりと考えることが、自分の夢を語る前に必要なのです。2つ目は、「誰かのために役に立つこと、それが自分の幸せにつながる」です。これは私も同感です。仕事には、楽しいこともあるけれど、いやなことや苦しいこともあります。したくないけど、しなければならぬことがどんな職業にもあります。でも、その仕事をするだけで、誰かが喜んでくれたら、誰かの役に立てたら、きっと満足感が得られます。苦しかったけどやってよかったなど、幸せな気持ちになれます。そんな仕事をしてお金がもらえたら、長く続けられると思います。

小学生には、夢をもってほしい。それは、夢が目標になるからです。「こうなりたい。」という夢がもてたら、そのために今しなければならぬことが、分かってきます。実現するために必要な準備が何か、自分で考えることができるからです。目標が決まれば、そこに向かってまっすぐに進むことができます。最短コースが最良かどうかは分かりません。ですが、目標が決まっている方が充実した人生になると思います。

子育ては難しいです。他の人（先生、友達、先輩など）のいうことは聞けても、親のいうことは聞かないことが多いです。それは、親に対しては素直な気持ちになれずに、反発してしまうことがあるからです。昔から、「かわいい子には旅をさせろ」とか、「よその釜の飯を食わせろ」といわれるのは、そのためです。親子は関係が近すぎて、すぐに言い返してしまいます。他人さんだと、そうはいきません。ですから、子育て（思春期）は難しいのです。教師は、教えることが仕事ですが、自分の子どもには、うまくいかないことがあるのはその表れです。また、子育ては、やり直しができません。親も子も、子育ては一生に1回きりです。何人も子どもがいても、一人一人違って、同じようには成長しません。お互い（親も子も）悩みながら、成長していくのかなど考えます。

私もいよいよ3月末で退職です。後輩の先生方に、伝えたいことがあります。それは、「今、先生という職業に魅力があるか？」ということですが、今の職業観の中で、先生という仕事の見方を形成してきたのは、私たち退職の世代です。昭和の後半から、校内暴力や不登校、いじめなどが社会問題となり、先生という職業によくないイメージを与えてしまいました。なりたい職業の上位に公務員があっても、教員は少ないのが現状です。その表れとして、徳島県でも教員採用試験の倍率が年々下がってきています。子どもたちに、先生という仕事の魅力を伝えてこなかったのが原因の1つだと思っています。先生の仕事も働き方改革を進めて、子どもたちからも、社会の人からも魅力のある仕事だと思われるようにしてほしいです。